

－医学部 HP－

本学医学部がインドネシアのアイランガ大学看護学部と部局間協定を締結しました

本学医学部は、インドネシアのアイランガ大学看護学部と部局間学術交流協定を締結し、松岡キャンパスで調印式を行いました。

本学医学部は、2011年よりアイランガ大学医学部へ学生を派遣し、2016年には部局間協定を締結、以来継続して医学生の派遣と受入を行っており、本学医学部における国際交流のリーディング・ケースとなっています。

アイランガ大学看護学部は同大医学部と別の部局であるため、このたび、看護学領域における国際交流を目的とした部局間協定を新たに締結し、公衆衛生学、特に地域看護学領域における教育研究を中心とした交流を行うことになりました。今年6月にはこの協定締結に先立ち、アイランガ大学看護学部主催の国際看護学セミナーに、本学の長谷川智子看護学科長がオンラインで参加するなど交流を続けています。

調印式では内木宏延医学部長が調印を行い「両大学の学生や研究者が交流することで、互いの宗教や文化を深く知ることが出来、今後本学のグローバルな人材育成に寄与できると思います。協定を通じて両大学の更なる発展が期待できます」と話しました。

本学では、アイランガ大学など重要な海外協定校との交流を深め、より一層の国際化を図っていきます。



署名する内木宏延医学部長



署名後の記念撮影（写真左から）

国際交流委員会委員長の定 清直教授、内木宏延医学部長
長谷川智子看護学科長、国際担当副部門長の長谷川美香教授